



# 2026年7月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2026年3月5日

上場会社名 ティーライフ株式会社 上場取引所 東  
コード番号 3172 URL <https://www.tealifeir.com/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西上 節也  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営戦略部長 (氏名) 齋藤 正和 TEL 0547-46-3459  
半期報告書提出予定日 2026年3月5日 配当支払開始予定日 2026年4月6日  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無 (動画配信のみ)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年7月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年8月1日～2026年1月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年7月期中間期	5,329	11.5	158	28.3	168	23.6	160	7.3
2025年7月期中間期	6,024	10.7	220	9.4	220	10.3	172	23.1

(注) 包括利益 2026年7月期中間期 157百万円 (15.8%) 2025年7月期中間期 136百万円 (7.3%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年7月期中間期	37.50	
2025年7月期中間期	40.49	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年7月期中間期	8,740	6,511	74.5
2025年7月期	8,777	6,432	73.3

(参考) 自己資本 2026年7月期中間期 6,511百万円 2025年7月期 6,432百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年7月期		20.00		20.00	40.00
2026年7月期		15.00			
2026年7月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年7月期の連結業績予想(2025年8月1日～2026年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,983	4.2	533	16.9	529	16.9	356	0.7	83.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年7月期中間期	4,273,600 株	2025年7月期	4,267,900 株
2026年7月期中間期	224 株	2025年7月期	224 株
2026年7月期中間期	4,269,906 株	2025年7月期中間期	4,264,267 株

期末自己株式数

期中平均株式数 (中間期)

第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明資料について)

決算説明資料は、本決算短信とあわせて当社ホームページに掲載しております。また、決算説明動画を2026年3月中旬までに当社ホームページにて配信する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、回復基調を維持しつつも、米国の通商政策の継続的な影響や中国経済の弱含みなどのリスクから、勢いに欠ける状況が続きました。家計所得環境は高い水準の賃上げにより改善した一方、食料品を中心とした物価上昇が続き、個人消費の持ち直しは緩慢となりました。その結果、景気の回復ペースは弱まっています。また、2025年10月には新政権が発足し、財政政策の柔軟化や金利上昇局面が重なるなど、政策・金融環境の変化の影響も景気全体に不確実性をもたらしています。

卸・小売業界では、物価上昇が長期化する中で実質賃金の回復が鈍く、消費者の節約志向が継続し、個人消費の本格的な回復には時間を要しており、依然として先行きが不透明な状況にあります。

このような経済環境のなか、当社グループは安定的かつ継続的な成長と企業価値の向上を目指し、美と健康を通じ豊かな生活をサポートする企業として、「Mastering Today, Shaping Our Future!」「今日を極め、未来を創る」をスローガンとした中期経営計画の達成に向け、各事業の拡大及び利益確保に取り組んでまいりました。

この結果、当中間連結会計期間における売上高は5,329百万円(前中間連結会計期間比11.5%減)となりました。損益面では、営業利益は158百万円(同28.3%減)、経常利益は168百万円(同23.6%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は160百万円(同7.3%減)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

#### (ウェルネス事業)

テレビショッピング向けの卸販売では既存主力商品の拡販に注力したほか、新商品の開発に取り組みました。実店舗向け卸販売では秋冬の季節商品やギフト系新商品の拡販を推進しました。カタログ通販においては、顧客開拓の効率改善と販促規模の適正化を進めたほか、主力商品の茶類において原料コスト上昇分の価格転嫁を実施する等、収益改善に注力しました。国内及び海外EC事業では運営コストの最適化や、オリジナル商品の品揃え拡大に努めました。また、海外で人気を高めている抹茶の輸出に関し、仕入先・販売先の開拓を進めました。

一方で、カタログ通販市場全般の縮小やECモールの競合出店社数の増加に伴う競争の激化などの要因により、売上高は4,857百万円(前中間連結会計期間比12.8%減)、原材料費や配送コストなどの上昇により、セグメント利益は55百万円(同57.3%減)となりました。

#### (ロジスティクス事業)

ロジスティクス事業では、袋井センター・掛川センターの安定稼働と、名古屋センターの顧客開拓営業に注力し、売上高は471百万円(前中間連結会計期間比3.8%増)、利益面では人件費や光熱費等のコストプッシュ要因に対応し、各センターの運用効率の改善に努め、セグメント利益は102百万円(同14.1%増)となりました。

### (2) 当中間期の財政状態の概況

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

財政状態の分析は、次のとおりであります。

##### (資産)

当中間連結会計期間末の資産合計は、8,740百万円(前連結会計年度末比37百万円減)となりました。

流動資産の増加(同36百万円増)は、主に現金及び預金が175百万円減少したものの、有価証券が98百万円、商品及び製品が82百万円増加したことによるものであります。

固定資産の減少(同72百万円減)は、主に投資その他の資産のその他が43百万円増加したものの、投資有価証券が72百万円、のれんが16百万円減少したことによるものであります。

繰延資産の減少(同1百万円減)は、創立費及び開業費を償却したことによるものであります。

##### (負債)

当中間連結会計期間末の負債合計は、2,228百万円(前連結会計年度末比116百万円減)となりました。

流動負債の増加(同81百万円増)は、主に未払法人税等が17百万円減少したものの、流動負債のその他が128百万円増加したことによるものであります。

固定負債の減少(同197百万円減)は、主に固定負債のその他が159百万円、長期借入金が41百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末の純資産合計は、6,511百万円(前連結会計年度末比79百万円増)となり、この結果、自己資本比率は74.5%となりました。

純資産の増加は、主にその他有価証券評価差額金が1百万円減少したものの、利益剰余金が74百万円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ570百万円減少し、2,063百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、31百万円(前年同会計期間比89.5%減)となりました。

これは、主に税金等調整前中間純利益が175百万円があったものの、棚卸資産の増加83百万円、法人税等の支払額76百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、479百万円(前年同会計期間比285.2%増)となりました。

これは、主に定期預金の払戻による収入700百万円があったものの、定期預金の預入による支出1,100百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、127百万円(前年同会計期間比6.1%減)となりました。

これは、主に配当金の支払額85百万円、長期借入金の返済による支出41百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年7月期の連結業績予想につきましては、2025年9月4日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、中間配当金につきましては、直近の配当予想のとおり、1株当たり15円とさせていただきます。詳細につきましては、本日(2026年3月5日)公表の「剰余金の配当(中間配当)に関するお知らせ」をご覧ください。

また、期末配当金につきましては、1株当たり15円とし、年間配当金の合計は30円とさせていただく予定であります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年7月31日)	当中間連結会計期間 (2026年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,016	2,841
受取手形及び売掛金	756	788
有価証券	100	199
商品及び製品	760	842
仕掛品	65	76
原材料及び貯蔵品	88	78
その他	189	185
貸倒引当金	△6	△5
流動資産合計	4,970	5,007
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	629	620
土地	2,429	2,429
その他(純額)	90	82
有形固定資産合計	3,149	3,132
無形固定資産		
のれん	140	123
その他	72	61
無形固定資産合計	212	185
投資その他の資産		
投資有価証券	182	110
その他	254	297
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	436	407
固定資産合計	3,797	3,725
繰延資産	8	7
資産合計	8,777	8,740

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2025年7月31日)	当中間連結会計期間 (2026年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	384	373
1年内返済予定の長期借入金	99	99
未払法人税等	81	64
賞与引当金	50	39
役員賞与引当金	7	—
その他	472	601
流動負債合計	1,097	1,178
固定負債		
長期借入金	819	777
退職給付に係る負債	85	89
資産除去債務	72	72
その他	269	110
固定負債合計	1,247	1,050
負債合計	2,344	2,228
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	368	371
資本剰余金	337	340
利益剰余金	5,725	5,800
自己株式	△0	△0
株主資本合計	6,430	6,512
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	△0
為替換算調整勘定	0	0
その他の包括利益累計額合計	1	△0
純資産合計	6,432	6,511
負債純資産合計	8,777	8,740

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年1月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年8月1日 至 2026年1月31日)
売上高	6,024	5,329
売上原価	3,899	3,283
売上総利益	2,125	2,045
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	602	546
貸倒引当金繰入額	0	△0
賞与引当金繰入額	34	39
役員賞与引当金繰入額	2	—
退職給付費用	11	12
その他	1,253	1,289
販売費及び一般管理費合計	1,904	1,887
営業利益	220	158
営業外収益		
受取利息	2	6
受取配当金	0	0
為替差益	—	4
その他	4	3
営業外収益合計	7	14
営業外費用		
支払利息	2	2
為替差損	3	—
創立費償却	1	1
その他	0	0
営業外費用合計	7	4
経常利益	220	168
特別利益		
固定資産売却益	0	6
投資有価証券売却益	46	1
特別利益合計	46	8
特別損失		
補助金返還額	—	1
特別損失合計	—	1
税金等調整前中間純利益	267	175
法人税等	94	14
中間純利益	172	160
親会社株主に帰属する中間純利益	172	160

(中間連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年1月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年8月1日 至 2026年1月31日)
中間純利益	172	160
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△36	△1
為替換算調整勘定	△0	△0
その他の包括利益合計	△36	△2
中間包括利益	136	157
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	136	157
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年1月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年8月1日 至 2026年1月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	267	175
減価償却費	55	58
のれん償却額	26	16
繰延資産償却額	1	1
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△5	△10
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△0	△7
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△2	3
受取利息及び受取配当金	△2	△6
支払利息	2	2
為替差損益(△は益)	3	△4
投資有価証券売却損益(△は益)	△46	△1
売上債権の増減額(△は増加)	△28	△31
棚卸資産の増減額(△は増加)	25	△83
仕入債務の増減額(△は減少)	△37	△11
その他	102	4
小計	360	103
利息及び配当金の受取額	2	6
利息の支払額	△2	△2
法人税等の支払額	△64	△76
営業活動によるキャッシュ・フロー	295	31
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△221	△1,100
定期預金の払戻による収入	141	700
有形固定資産の取得による支出	△14	△62
有形固定資産の売却による収入	1	14
無形固定資産の取得による支出	△12	△1
投資有価証券の取得による支出	△101	△30
投資有価証券の売却による収入	81	2
その他	1	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△124	△479
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△49	△41
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△85	△85
財務活動によるキャッシュ・フロー	△135	△127
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	5
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	32	△570
現金及び現金同等物の期首残高	2,932	2,633
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,965	2,063

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年8月1日 至 2025年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ウェルネス 事業	ロジスティクス 事業			
売上高					
顧客との契約から生じる 収益	5,570	122	5,693	—	5,693
その他の収益(注) 3	—	331	331	—	331
外部顧客への売上高	5,570	454	6,024	—	6,024
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	77	77	△77	—
計	5,570	531	6,102	△77	6,024
セグメント利益	131	89	220	△0	220

(注) 1. セグメント利益の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸料収入等が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年8月1日 至 2026年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	中間連結 損益計算書 計上額 (注)1
	ウェルネス 事業	ロジスティクス 事業			
売上高					
顧客との契約から生じる 収益	4,857	136	4,994	—	4,994
その他の収益(注)2	—	334	334	—	334
外部顧客への売上高	4,857	471	5,329	—	5,329
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1	1	△1	—
計	4,857	472	5,330	△1	5,329
セグメント利益	55	102	158	—	158

(注) 1. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸料収入等が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。